

◆ News Release ◆

株式会社阪急交通社

阪急交通社グループ 旅行概況 (7月分) について

2025年7月の旅行取扱実績について、下記のとおりお知らせします。

株式会社阪急交通社

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	13,783,527	11,585,032	119.0%
国内旅行	10,805,611	10,830,991	99.8%
訪日旅行	342,613	281,399	121.8%
合 計	24,931,751	22,697,422	109.8%

【概況】

7月の営業概況は、総取扱額 249 億 3,175 万 1 千円、前年同月比 109.8%となりました。

海外旅行は、2025年7月の出国日本人数が2019年同月比で72.7%となり、前月から3.4ポイント増加したものの、本格的な回復には依然として時間を要する状況が続いています。

こうした市場環境の中、当社では堅調に推移しているエジプトおよびトルコに加え、前年からの回復率が高い中国や香港、マカオを中心に、全国で販売強化に取り組みました。

その結果、エジプトが前年同月比で2.5倍、中国が5.8倍と大幅に伸長し、中国、香港も前年を大きく上回りました。また、ベストシーズンを迎えたスイスを中心に欧州が堅調に推移したほか、中南米の周遊型ツアーも前年実績を上回り、長距離方面の回復が進みました。

7月の海外旅行の取扱高は、137 億 8,352 万 7 千円、前年同月比 119.0%と、前年を大きく上回る結果となりました。

国内旅行は、観光庁が発表した宿泊旅行統計調査(第一次速報)によると、2025年7月の日本人延べ宿泊者数は前年同月比で1.1%減となり、需要の停滞が続いています。

こうした市場環境の中、当社では沖縄のフリープランや「ジャングリア沖縄」入場チケット付き商品の募集告知を強化したほか、FDA を利用した利尻・礼文島やにっぽん丸で行く八丈島などの各種チャーター企画と、豊富な商品群で夏休みの需要喚起に努めました。

その結果、北海道は前年実績を上回り、沖縄も「ジャングリア沖縄」の開業効果により堅調に推移しました。また、「大阪・関西万博」の需要増加に対応するため、各地からバス、JR、航空機、フェリーなど多様な交通機関を利用した商品の拡充したことにより、近畿も前年の実績を上回りました。

7月の国内旅行の取扱高は、108億561万1千円、前年同月比99.8%となりました。

株式会社阪急阪神ビジネスラベル

(単位:千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	2,474,018	2,554,898	96.8%
国内旅行	215,953	218,137	99.0%
訪日旅行	19	3,423	0.6%
合計	2,689,992	2,776,458	96.9%

【概況】

7月の営業概況は、総取扱額26億8,999万2千円、前年同月比96.9%となりました。

海外旅行は、米国の関税政策に起因する世界経済の不透明感により、企業による業務出張は消極的な傾向が継続し、取扱高は前年同月比96.8%となりました。

国内旅行は、業務出張が堅調に推移したものの、前年の大型案件の反動により、取扱高は前年同月比99.0%に留まりました。

2社合計取扱額

株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神ビジネスラベル

(単位:千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	15,859,900	13,768,284	115.2%
国内旅行	10,984,310	11,000,206	99.9%
訪日旅行	342,632	284,822	120.3%
合計	27,186,842	25,053,312	108.5%

※2社間の取引を相殺したものです。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋3-3-9 TEL:03-6745-7333 / FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25 TEL:06-4795-5711 / FAX:06-4795-5724